

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ディスプレイ I Display I		2年	前期	水曜日・4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (グループ発表と個人発表がある。)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ディスプレイ II				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
阿部芳子	福祉棟 3F	月・水曜 12:30~16:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
ディスプレイテクニックは販売促進活動に必要なビジュアル・プレゼンテーションである。ファッション業界の婦人服・雑貨・コスメ関係のディスプレイテクニックを習得することを目指す。①ラッピング技術を身につけ ②商品の展示や陳列 ③什器の使い方を学ぶことにより、④テーマにあった演出ができるよう知識と技術力を身につける。				
授業の到達目標				
ショップディスプレイの用語を理解し、ショップレイアウトやディスプレイに関する基本的な作業・技術を身につけることができるようにする。店舗における即戦力として、企業から求められる人材を育成することができるようにする。				
授業の方法				
多くの資料と実際を見て経験することで、より実践的な理解を深める。教室内に、ショップコーナーを設け、ディスプレイ実習を行う。グループでテーマ別、展示提案をし発表する。また、現場で学ぶことも組み入れる。				
学習の成果				
ショップのディスプレイ提案と商品解説を含めた提案力を身につけることができる。年間行事に沿ったテーマの提案発表をすることで、各人のスキルを高めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス、ディスプレイの分野、基本の理解			
第2回目	ディスプレイ構成の基本、マネキン・オブジェ・什器の種類と使い方			
第3回目	商品知識、アイテム別 (レディス・メンズ) ・ファッション雑貨			
第4回目	ビジュアルプレゼンテーションテクニックの基礎、構図・構成 [現場視察レポート]			
第5回目	売場のカラー・照明			
第6回目	ライフスタイルと空間構成 [レポート提出]			

第7回目	ラッピングの基礎 (包み方・リボン結び) 実習		
第8回目	ラッピングの応用 (アレンジ)		[作品提出]
第9回目	ウインドーディスプレイ・販売促進、テーマプレゼンテーション		
第10回目	ピンワーク利用とディスプレイ		
第11回目	応用テクニック (レディスウエアー) 吊る・ワイヤリング・テグスワーク		
第12回目	子供服売り場VP演習		[図面提出]
第13回目	インテリア・生活雑貨プレゼンテーション		
第14回目	ディスプレイ表現発表のための構成案準備、テーマ、展示物		(個人・グループ)
第15回目	ディスプレイ製作の作業とプレゼンテーション [教室内展示発表]、まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	積極的に授業に望み、作業や実習では仲間と力を合わせ、表現することができるか。
レポート			
調査報告書		20%	現場に自ら出向き調査できたか。内容はしっかりまとめられているか。
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)		60%	完成度の高い内容で表現し、的確な表現で発表できたか。仲間とコミュニケーションをとりながらまとめられたか。
その他			
教科書と参考図書			
教科書：ディスプレイ・VP・VMD (文化出版局) 参考書：VMD MEGA BIBLE (織研新聞社)、ディスプレイのアイディアとテクニック (文化出版局) その他写真等の資料提示			
履修上の心得・ルール			
多くのディスプレイ展示に興味を持って、授業に望むことを期待する。			